



2回目のない女

コンカツ漂流記

は な

はじめに

幼いころから、ポチャデブで色白だっただけに、“白ブタ”と呼ばれ茶化されることが多かった小中学校時代。高校進学は、女子校へと進んだ。大事な青春時代を女子校で過ごし、青年期の青年を知らないまま、今度は男女共学のむしろ男性ばかりの法学部の大学へと進学。女だらけの女子校生活から、男性ばかりの中に放り込まれた状況へと生活がいつぱんする。

男子だらけの“好条件”の環境にいたのに、私の興味は“資格”に重きが置かれていた。そしてありとあらゆる資格を取得し、28歳の時には中古マンションを購入した。

ありとあらゆるものを手にしていったが、一番大切なものがストーンと抜けたいたのだ。

気がつけばもう30歳を目前。今までたいした恋愛もしないまますごして来た20代。

いきなり“恋愛のフルマラソン”に挑戦したようなものである。

ゴールの見えない“コンカツ”という長距離マラソンのスタートを切ってしまった。

私はもうすぐ40歳。コンカツという長距離マラソンは10年を費やしてしまった。

いまだ結婚というゴールにはたどり着いていない。いつか必ずゴールに到着できると思い、信じて、いまだにコンカツを続けている。

おもしろおかしく平成のお見合い事情、コンカツの現状をお伝えしていきたい。

すべてが事実である。面白おかしく笑えたらと思っている。